

平成26年2月期 第2四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成25年10月3日 上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シーズメン

コード番号 3083 URL http://www.csmen.co.jp (役職名) 代表取締役社長 代表者

(氏名) 青木 雅夫 問合せ先責任者(役職名)経営管理部長 (氏名) 保住 光良

四半期報告書提出予定日 平成25年10月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 :有 TEL 03-5623-3781

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日~平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上	高	営業和	J益	経常和	J益	四半期紅	柯益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	3,380	△3.9	△18	_	△22	_	△36	_
25年2月期第2四半期	3,519	2.3	147	136.7	143	175.3	75	_

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	△45.85	_
25年2月期第2四半期	95.97	_

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は当該分割が前事 業年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

(- / N) PX I / ()				
	総資産	純資産	自己資本比率	
	百万円	百万円	%	
26年2月期第2四半期	3,845	2,165	56.3	
25年2月期	3,753	2,223	59.2	

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 2,165百万円 25年2月期 2,223百万円

2. 配当の状況

2. 80 30 70 70	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
25年2月期	_	0.00	_	4,000.00	4,000.00		
26年2月期	_	0.00					
26年2月期(予想)			_	45.00	45.00		

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。平成26年2月期(予想)の年間配当金は、当該株式分割を考慮 した額を記載しております。

3. 平成26年 2月期の業績予想(平成25年 3月 1日~平成26年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

									77.10.4 7.3 [33.79]- [2.894] 7
	売上	高	営業和	刊益	経常和	刊益	当期純	利益	1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,680	4.7	190	△36.7	180	△38.1	50	△56.4	63.32

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮した額を記載し ております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期2Q	975,000 株	25年2月期	975,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	185,400 株	25年2月期	185,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期2Q	789,600 株	25年2月期2Q	789,600 株

(注)当社は、平成25年9月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の株式分割を行っております。これに伴い、株式数は当該分割が前事業年度の期 首に行われたものと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

スロースリンニューリーのでは、 この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する 四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3)業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1)四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果もあり、輸出関連企業を中心に景気回復の傾向が見られました。しかしながら、個人消費につきましては、高額品など一部に回復の兆しが見られたものの、消費全般では慎重な購買姿勢が続いており、小売業界は引き続き厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社は、販売面におきましては、「METHOD事業の販売力の向上」と「流儀圧搾事業の収益構造の改善」を方針として取り組みを進めてまいりました。

METHOD事業では、接客サービスの向上によるプロパー販売の強化と、ボトム・雑貨の強化をテーマとして取り組んでまいりましたが、具体的な成果を出すには到らず、また、品揃え面では顧客層の拡大を目指し、デザイン性を重視した商品やキャラクター物など若い世代に対応する商品を拡充いたしましたが、既存の客層の中でもボリュームのある30代の顧客への対応が手薄になったことにより、客数減を招き、既存店客数前年比は91.1%、既存店売上高前年比は90.8%となりました。

流儀圧搾事業では、各エリアを統括するリーダーが、プレイングマネージャーとして自店舗の収益改善を行い、その成果をエリア内各店舗へ普及することにより、事業としての収益構造の改善を目指しました。しかしながら、売上・荒利等の具体的数値改善を進めることができず、また、常連顧客に対応する変化のある品揃えが不足したこともあり、既存店客数前年比は91.2%、既存店売上高前年比は、89.9%となりました。

以上の結果、全社の売上高前年比は96.1%、既存店売上高前年比は90.6%となりました。

商品面におきましては、品質の向上と荒利率の改善をテーマとして取り組んでまいりました。品質の向上では、 外部コンサルタントを導入し、品質管理のノウハウを自社に定着させる取り組みを進めております。

荒利率の改善では、在庫コントロール面で、商品在庫を前年同月比で27百万円削減し、1坪当り在庫を前年同月比で18千円削減の167千円として改善を図りましたが、売上が計画を下回ったことや原価の上昇などの要因もあり、当第2四半期累計期間の売上総利益率は49.8%と、前年を0.9ポイント下回る結果となりました。

店舗戦略におきましては、「METHOD」3店舗、「流儀圧搾」4店舗、合計7店舗の新店を出店する一方で、

「METHOD」 1 店舗を閉店いたしました。その結果、当第 2 四半期累計期間末の店舗数は「METHOD」 42店舗、「流儀 圧搾」32店舗「METHOD COMFORT」 2 店舗(アウトレット店)、「AGIT POINT」 1 店舗、「誓文払い」 1 店舗(アウトレット店)の合計78店舗となりました。

また、既存店の販売力の強化を図るため「METHOD」3店舗の改装を実施いたしました。

新規事業におきましては、前期の3月にスタートしたネット販売事業、および、10月にスタートしたシンガポールの卸売事業も順調に推移しており、今後の成長を目指して育成してまいります。

以上の結果、当第2四半期累計期間における売上高は33億80百万円(前年同期比3.9%減)、営業損失は18百万円(前年同期比165百万円損失増)、経常損失は22百万円(前年同期比165百万円損失増)、当期純損失は36百万円(前年同期比111百万円損失増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は22億95百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金の減少37百万円、商品の減少95百万円、売掛金の増加1億34百万円等によるものであります。固定資産は15億43百万円となり、前事業年度末に比べ78百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産の減少11百万円、有形固定資産の増加63百万円、敷金及び保証金の増加26百万円等によるものであります。

この結果、総資産は38億45百万円となり、前事業年度末に比べ91百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は10億36百万円となり、前事業年度末に比べ1億42百万円減少いたしました。これは主に支払手形の減少70百万円、設備関係支払手形の減少27百万円、未払法人税等の減少47百万円等によるものであります。固定負債は6億43百万円となり、前事業年度末に比べ2億92百万円増加いたしました。これは主に社債の増加2億円、長期借入金の増加1億2百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は16億80百万円となり、前事業年度末に比べ1億49百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は21億65百万円となり、前事業年度末に比べ58百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少67百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、営業活動により1億1百万円減少、投資活動により2億43百万円減少、財務活動により3億8百万円増加し、11億47百万円となり、前事業年度末と比較して37百万円の減少となりました。

また、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、減少した資金は1億1百万円となりました。

これは主に税引前四半期純損失38百万円に、償却費等の内部留保の合計92百万円による資金の増加、売上債権の増加による資金の減少1億34百万円、仕入債務の減少による資金の減少83百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は2億43百万円となりました。

これは主に敷金及び保証金の回収による収入22百万円、固定資産の取得による支出2億21百万円、敷金及び保証金の差入による支出38百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は3億8百万円となりました。

これは主に長期借入金の返済による支出88百万円、配当金の支払による支出31百万円、社債発行による収入2億43 百万円、長期借入による収入2億円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の通期業績予想につきましては、平成25年9月26日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」について変更はございません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いた します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表 (1) 四半期貸借対照表

		(単位:千円)
	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 184, 313	1, 147, 01
売掛金	223, 514	358, 01
商品	794, 008	698, 71
繰延税金資産	41, 687	57, 63
その他	48, 295	37, 89
貸倒引当金	△3, 076	△3, 360
流動資産合計	2, 288, 742	2, 295, 92
固定資産		
有形固定資産		
建物	873, 794	919, 97
減価償却累計額	△561, 094	△561, 53
建物(純額)	312, 699	358, 44
工具、器具及び備品	180, 106	234, 87
減価償却累計額	\triangle 92, 602	△112, 95
工具、器具及び備品(純額)	87, 503	121, 91
建設仮勘定	16, 257	=
有形固定資産合計	416, 460	480, 36
無形固定資産		
ソフトウエア	22, 094	18, 98
リース資産	57, 840	43, 38
その他	3, 150	3, 15
無形固定資産合計	83, 084	65, 51
投資その他の資産		
投資有価証券	62, 379	77, 40
長期貸付金	70, 140	68, 58
長期前払費用	11, 146	13, 10
繰延税金資産	34, 844	23, 10
敷金及び保証金	857, 256	884, 11
貸倒引当金	<u></u>	△68, 58
投資その他の資産合計	965, 626	997, 72
固定資産合計	1, 465, 171	1, 543, 603
繰延資産		
社債発行費	_	6, 14
繰延資産合計		6, 14
	3. 753. 914	3, 845, 670
資産合計	3, 753, 914	3, 845

業年度 F2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成25年8月31日)	
117, 241	46, 404	
192, 297	179, 254	
220, 000	220, 000	
_	50, 000	
184, 892	194, 180	
31, 584	30, 044	
171, 947	205, 334	
60, 717	12, 973	
54, 300	52, 900	
10, 460	11, 228	
38, 677	11, 085	
7, 161	5, 338	
89, 648	17, 422	
1, 178, 927	1, 036, 166	
_	200, 000	
140, 002	242, 008	
31, 565	31, 565	
24, 579	10, 437	
155, 088	159, 854	
351, 235	643, 865	
1, 530, 162	1, 680, 031	
245, 000	245,000	
415, 193	415, 193	
1, 699, 899	1, 632, 115	
△150, 446	△150, 446	
2, 209, 645	2, 141, 861	
14, 106	23, 777	
14, 106	23, 777	
	2, 165, 638	
	3, 845, 670	
	14, 106 2, 223, 752 3, 753, 914	

(第2四十朔衆司朔則)		(単位:千円)
	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)
売上高	3, 519, 917	3, 380, 927
売上原価	1, 735, 555	1, 698, 395
売上総利益	1, 784, 362	1, 682, 532
販売費及び一般管理費	1, 636, 736	1, 700, 886
営業利益又は営業損失(△)	147, 626	△18, 353
営業外収益		
受取利息	1,019	825
受取配当金	425	425
貸倒引当金戻入額	1, 189	1, 268
固定資産処分益	2, 000	_
その他	577	63
営業外収益合計	5, 211	2, 582
営業外費用		
支払利息	9, 273	6, 230
その他	153	174
営業外費用合計	9, 426	6, 405
経常利益又は経常損失(△)	143, 411	△22, 176
特別損失		
固定資産除却損	9, 015	8, 106
店舗閉鎖損失	_	105
減損損失	9, 453	7, 951
その他	741	
特別損失合計	19, 211	16, 163
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	124, 200	△38, 339
法人税、住民税及び事業税	6, 851	7, 422
法人税等調整額	41, 571	△9, 562
法人税等合計	48, 422	△2, 139
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75, 777	△36, 200

		(単位:十円)			
	前第2四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)			
営業活動によるキャッシュ・フロー					
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	124, 200	△38, 339			
減価償却費	45, 426	55, 620			
無形固定資産償却費	18, 369	17, 699			
長期前払費用償却額	4, 089	3, 369			
減損損失	9, 453	7, 951			
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1, 189	$\triangle 1,268$			
賞与引当金の増減額(△は減少)	2, 200	$\triangle 1,400$			
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	3, 578	768			
受取利息及び受取配当金	$\triangle 1,445$	$\triangle 1,250$			
固定資産処分損益(△は益)	△2, 000	-			
支払利息	9, 273	6, 230			
固定資産除却損	9, 015	8, 106			
売上債権の増減額 (△は増加)	△71, 606	$\triangle 134,505$			
たな卸資産の増減額(△は増加)	30, 121	95, 291			
その他の資産の増減額 (△は増加)	$\triangle 2,572$	$\triangle 5,273$			
仕入債務の増減額(△は減少)	△31, 253	△83, 880			
その他の負債の増減額(△は減少)	6, 695	34, 584			
未払消費税等の増減額(△は減少)	1, 157	△6, 185			
小計	153, 513	△42 , 482			
利息及び配当金の受取額	1, 445	1, 250			
利息の支払額	$\triangle 9,005$	△6, 411			
法人税等の支払額	$\triangle 13,747$	△54, 180			
営業活動によるキャッシュ・フロー	132, 205	△101, 823			
投資活動によるキャッシュ・フロー		<u> </u>			
有形固定資産の取得による支出	△23, 998	$\triangle 221,567$			
無形固定資産の取得による支出	$\triangle 9,265$	<u></u> ∆130			
敷金及び保証金の回収による収入	12, 562	22, 359			
敷金及び保証金の差入による支出	△8, 852	△38, 793			
長期前払費用の取得による支出	△200	$\triangle 5,382$			
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29, 753	△243, 513			
財務活動によるキャッシュ・フロー	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,			
長期借入れによる収入	_	200, 000			
長期借入金の返済による支出	\triangle 92, 446	△88, 706			
社債の発行による収入		243, 854			
リース債務の返済による支出	$\triangle 15,222$	\triangle 15, 681			
配当金の支払額	△19, 953	△31, 429			
財務活動によるキャッシュ・フロー	△127, 622	308, 036			
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25, 170	△37, 300			
現金及び現金同等物の期首残高	1, 152, 774	1, 184, 313			
現金及び現金同等物の四半期末残高	1, 127, 604	1, 147, 013			

- (4)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。
- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 該当事項はありません。
- (6) セグメント情報等

当社は、衣料品小売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。